

「歩いて楽しいまち」の実現に向けた取り組み

江川町交差点と水落交差点が便利になりました！

「江川町交差点」、「水落交差点」改良への取り組み

静岡市では、歩いて楽しいまちづくりを推進する取り組みの一環として、江川町交差点において、横断歩道の増設および交差点のコンパクト化を行いました（H27.7 供用開始）。

これにより、まちなかの回遊性を高め、にぎわいを生み出すとともに、だれでも容易に移動できる歩行環境づくり（バリアフリー化）に取り組みました。

また、水落交差点では、南進方向の左折車線を設置するなどの交差点改良を行い、都心周辺部の交通の円滑化を図りました（H27.9 供用開始）。

今回、上記事業による整備効果を把握し、今後の更なる歩行環境の改善に生かすため、事業完了後の交通環境実態調査を行いましたので、結果をお知らせします。

静岡市 都市計画課



整備効果の概要

江川町交差点の改良

歩行者への効果

交差点を通る歩行者が増加、周辺の人どおりも増加

- ・江川町交差点を通行する歩行者が平日、休日ともに増加しました
- ・江川町交差点周辺の通りにおいても歩行者が増加しました

アンケート結果「便利になった」「まちを巡りやすくなった」

- ・交差点の利便性向上、まちなかの巡りやすさ向上について、それぞれ歩行者の約8割が「非常にそう思う」「そう思う」と回答しました

自動車への影響

渋滞の発生はみられない

- ・懸念された西進方向（北街道）の渋滞については、改良後にもみられませんでした

アンケート結果「通過時間は変わらない」

- ・改良後の交差点の通過時間について、約8割のドライバーが整備前と比べ横断歩道による影響は感じないと回答しました
- ・改良後の交差点の安全性について、「安全になった」、「危険になった」と感じたドライバーがそれぞれ約2割、その他は「どちらとも言えない」や無回答でした

水落交差点の改良

自動車への影響

渋滞が軽減

- ・南進方向（国道1号方向）の渋滞については、改良前と比べて軽減されました

通過時間が大幅に短縮

- ・草深橋交差点から水落交差点までの自動車の通過時間について、平日・休日ともに大幅に短縮されました

江川町交差点の改良

■ 整備の概要

○歩行者のまちなかの回遊性を高めるため、江川町交差点を改良しました

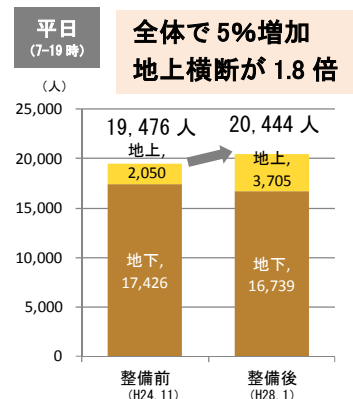
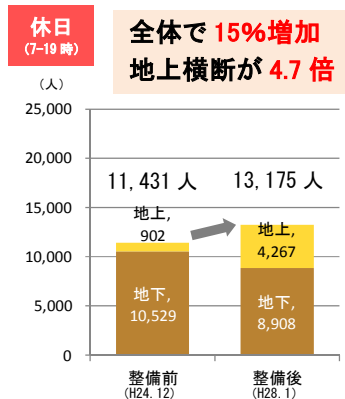
- ・江川町交差点では、今まで地下道による横断が主であり、“まちなかの回遊”や“高齢者や障がいのある人の移動への妨げ”となっていました
- ・「まちなかの回遊性を高める」、「だれもが移動しやすい歩行環境をつくる」ことを目指し、横断歩道の増設と交差点のコンパクト化の整備を行いました



■ 江川町交差点の歩行者の通行状況の変化

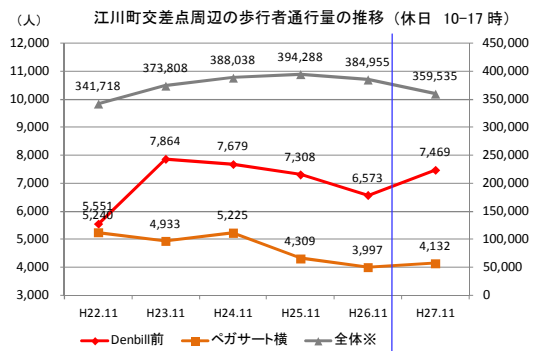
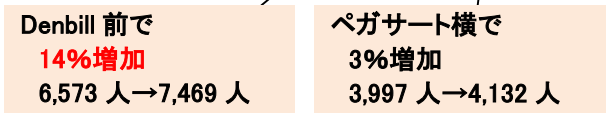
○江川町交差点を通行する歩行者が増えました

- ・江川町交差点を通行する歩行者(地上・地下全体の利用者)が休日で15%(+1,744人)、平日で5%(+968人)増加しました
- ・整備前と比べると、地上を通行する歩行者は休日 4.7 倍、平日 1.8 倍に増加し、特に休日の歩行者が増加しました



○江川町交差点周辺の回遊性が高まりました

- ・まちなかの歩行者が減少する中、江川町交差点の周辺では歩行者の通行量が増加しました
- ・特に江川町交差点と呉服町を結ぶ Denbill 前で大きく増加しました



H27.7 交差点改良

出典: 中心商店街通行量調査(静岡商工会議所)

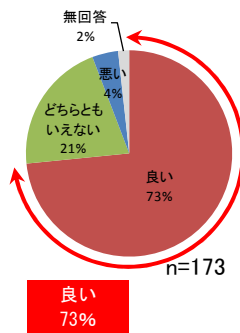
※まちなか全体の通行量は昨年より7%減少

■ 江川町交差点を通行する歩行者の評価

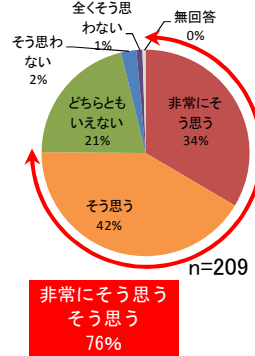
○多くの歩行者は、横断歩道の増設により「交差点の利便性」や「まちなかの巡りやすさ」が高まった、という意見でした

- ・歩行者に改良後の交差点を通行した感想を伺いました
- ・横断歩道を通った感想として、73%が「良い」と回答しました
- ・交差点の利便性、まちなかの巡りやすさについて、それぞれ約8割が「向上した」と回答しました

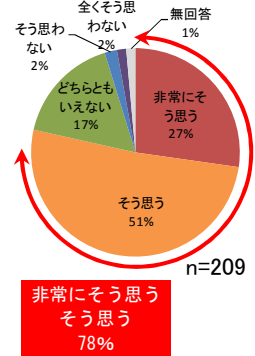
問 横断歩道を通った感想は？



問 交差点の利便性は高まったと思いますか？



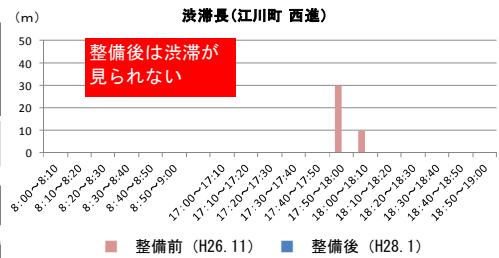
問 まちなかの巡りやすさ向上に効果があると思いますか？



■ 江川町交差点の自動車交通への影響

○渋滞の発生はみられませんでした

- ・横断歩道の新設により、北街道を西進する自動車への影響が懸念されました
- ・しかし、横断歩道を増設した後も渋滞はみられませんでした



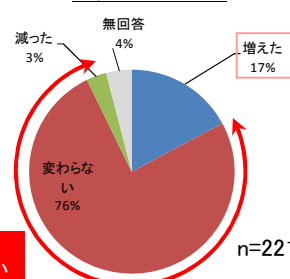
江川町交差点における渋滞長の変化

■ 江川町交差点を通行するドライバーの評価

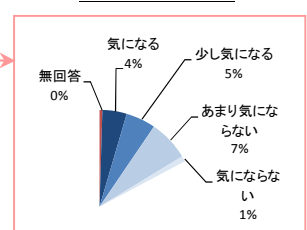
○多くのドライバーは、「通過時間は変わらない」、「安全性はどちらともいえない」という意見でした

- ・自動車のドライバーに“整備前後の江川町交差点の通過時間の変化”について伺ったところ、79%が「整備前と変わらない」「減った」と回答しました
- ・「増えた」という方も約半数の方が「気にならない」「あまり気にならない」と回答しました
- ・改良後の交差点の安全性について、ドライバーの約30%が「どちらともいえない」と回答し、「安全に感じる」という回答と「危険に感じる」という回答がどちらも約20%でした
- ・危険と感じる要因の半数以上が、歩行者のルール違反に関するものであり、安全な平面横断には、ルールを守った正しい横断歩道の利用が求められます

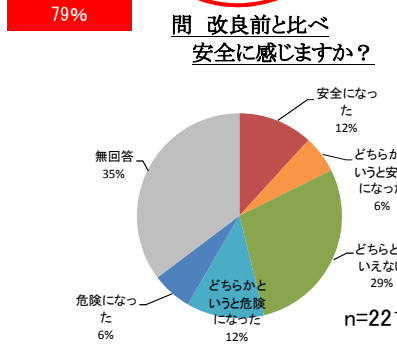
問 通過時間は変化しましたか？



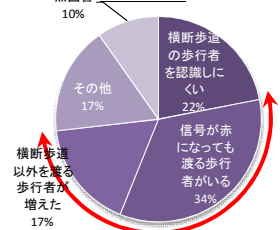
問 増えた時間は気になりますか？



問 改良前と比べ安全に感じますか？



問 危険と感ずる理由は？



ルール違反に関するもの 51%

水落交差点の改良

■ 整備の概要

○自動車の快適な交通環境を確保するため、水落交差点の改良を行いました

- ・水落交差点の南進方向では、左折待ちの車両等により渋滞が発生していました
- ・渋滞を軽減し、自動車の「快適な交通環境を確保する」ことを目指し、左折車線を設置しました
- ・併せて歩道を拡幅し、歩行者の利便性と安全性を高めました

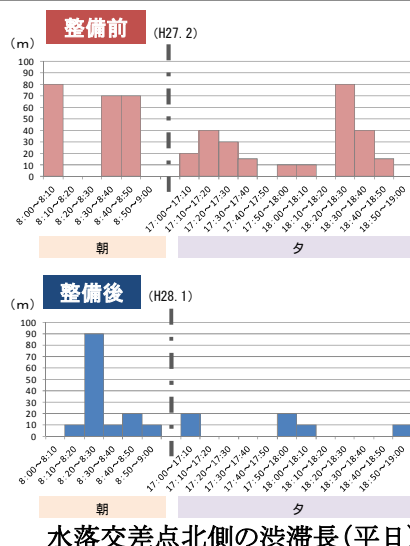


■ 水落交差点の交通状況の変化

○南進方向の渋滞が軽減されました

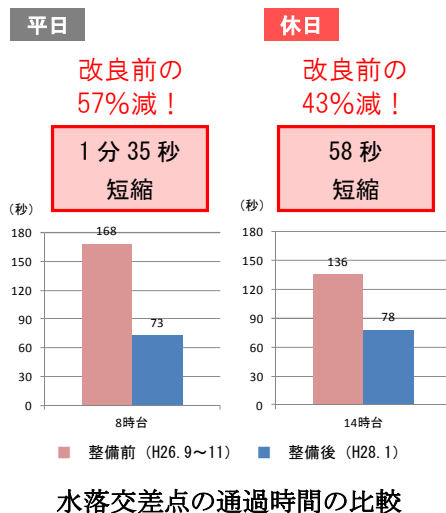
- ・水落交差点の南進方向(国道1号方向)の交通について、朝・夕ピーク時の渋滞長が短縮されました
- ・朝のピーク時には、整備前は 70m程度の渋滞が断続的に発生していましたが、整備後は一部渋滞が発生していますが、断続的な渋滞はおおむね 10m程度(自動車 1~2 台分)に軽減されました
- ・夕方のピーク時には、整備前は 20~80mの渋滞がほぼ連続的に発生していましたが、整備後はおおむね解消されました

※「渋滞長」とは、交差点に到着した車両が1回の青信号で捌ききれない場合の残った車両列の長さを指す



○水落交差点を南進方向へ通過する自動車の通行時間が大幅に短縮されました

- ・水落交差点を南(国道1号方向)に向かって通過する自動車の通過時間が平日・休日共に大幅に減少しました
- ・平日・朝の通勤時間帯では、交差点に流入する交通量が、整備前と整備後を比べると、約 5,300 台/12h から約 5,900 台/12h に増加しました
- ・交通量の増加にも関わらず、通過時間が減少したことは、水落交差点の交差点改良が自動車の交通の円滑化に寄与したものと考えられます



今後も「歩いて楽しいまち」の実現に向けた取り組みを進めていきます